

## 平成30年度潟上市行政評価に係る最終評価一覧

施策名	事業名	内部評価結果	外部評価結果	最終評価結果	外部評価コメント
ごみの減量化	①ごみ減量化事業(資源ごみ収集運搬)	事務事業改善	事務事業改善	事務事業改善	現在、ペットボトル指定袋は無料で配布されていることから、目的外の使用も散見される。取扱店で購入できるようにすることで利便性も向上すると考えられることから価格を考慮したうえで有料化するべき。
地域防災力の強化	②消防団の活動支援	現状維持継続	現状維持継続	現状維持継続	市で行うべき事業であり、重要ではあるが、やり方等の改善が必要ではないか。また、転出者については活動に支障がでるため、団員の加入要件を明確化するべき。
福祉意識の高揚と広報活動の充実	③有線放送	縮小・終期設定	縮小・終期設定	縮小・終期設定	利用者である飯田川地区住民の声も無視できない一方で、情報インフラの整備が急速に進む昨今においては時代になじまないことから、10年間という期間での終期設定は妥当。今後の状況等を注視しながら進めてもらいたい。
地域福祉体制の充実	④市バスの運行管理	縮小・終期設定	縮小・終期設定	縮小・終期設定	来年度から台数削減に着手するべき。現在の潟上市と同規模の自治体と比較し、規模に見合った保有台数にしていただきたい。また、削減後も運行要綱を遵守すべく、現在の利用形態を見直し、明確な基準やルールを誰が見ても分かる形で定め、適切に運用していくことが重要である。
介護予防と地域の支え合いの推進	⑤特養建設費償還助成金	現状維持継続	現状維持継続	現状維持継続	自己評価のとおり進めていただきたいが、助成金の算定基準が不明瞭であるため、改めて検討のうえで基準等を見直すべき。
高齢者の生きがい対策の推進	⑥生きがいづくり支援事業(プラザの湯)	現状維持継続	事務事業改善	事務事業改善	位置づけは福祉施設ということだが、利用実態を見ると一般の入浴施設である。老朽化が進む施設の修繕費等今後相当額の経費がかかることが予想できているのであれば、採算性を含め、現在の利用状況に見合った施設のあり方を検討し、将来的な方向性を定めるべき。
高齢者の生きがい対策の推進	⑦生きがいづくり支援事業(敬老事業)	縮小・終期設定	縮小・終期設定	縮小・終期設定	「祝い金」と「式典」の2事業を整理する必要があるのではないかと。式典はそのあり方について、見直しを検討する必要がある。
地域における生活支援体制の充実	⑧居宅支援事業	縮小・終期設定	縮小・終期設定	縮小・終期設定	障がい者を取り巻く環境が変化し、ニーズも多様化している今の時代に合った事業とは言えないのではないかと。効果検証も難しい。障がい者が自分たちのニーズに合ったサービスをしっかりと受けられているのであれば、内部評価どおり十分な周知を図った上で、縮小していくのが妥当である。
雇用促進対策の推進	⑨就業資格取得等助成事業	現状維持継続	事務事業改善	事務事業改善	有効求人倍率が上昇傾向にある現状においては、雇用の安定を目的とした従来どおりの就業資格取得に対する助成ではあまり効果的とは言えないのではないかと。この事業を継続していくのであれば、例えば、自宅から出られない人を就職に向けて後押しするようなものにする等対象者の見直しを検討していただきたい。
子どもを産み育てやすい環境づくり	⑩出産祝い金の給付	縮小・終期設定	縮小・終期設定	縮小・終期設定	自己評価のとおり進めていただきたい。縮小しながらも継続していくという方向性であれば、ある程度の継続性を担保できるような見直しを検討するべき。少子化対策に一定の効果があるとは思われるが、開始から3年目の事業であるため、効果検証期間としては不十分。また、少子化対策を主目的とするならば、対象がかなり限定される当該事業よりも子育て環境の整備等に、より重点的に取り組んだほうが市民の理解が得られるのではないかと。

## 平成30年度潟上市行政評価に係る最終評価一覧

施策名	事業名	内部評価結果	外部評価結果	最終評価結果	外部評価コメント
感染症対策の推進	⑪予防接種事業(小児予防接種・任意)	現状維持継続	現状維持継続	現状維持継続	接種料金が高額なロタウイルスの予防接種や感染すると重症化するおたふくかぜの予防接種に対する補助はまさに子育て世代のための事業であり、潟上市の特色の1つを表しているものであるため、自己評価どおり現状維持継続で進めていただきたい。
教育内容の充実	⑫学校教育関係各種補助金(児童生徒派遣費補助金、ホームステイ助成金、中学校部活動振興費補助金)	現状維持継続	現状維持継続	現状維持継続	教育上必要な事業であると考えられることから現状維持継続が適当。ただ、各補助金についての成果及び効果が見えにくいいため、それぞれについて事後評価のようなものを実施してはどうか。
教育環境の整備・充実	⑬大豊小学校スクールバス運行事業	現状維持継続	事務事業改善	事務事業改善	平成29年度実績から計算すると児童1人あたり年間40万円の交通費がかかっていることになる。他学区と比べると手厚い印象を受ける。通学距離の問題も含め、単純に削減できるものではないが、提案にもあったマイタウンバスとの連携について具体的に検討し、児童の安全を第一に考えながら、少しでも市の持ち出しが少なくなるよう努めていただきたい。
教育に対する保護者負担の軽減	⑭高校生通学費支援事業	縮小・終期設定	事務事業改善	事務事業改善	効果が見えづらい事業であるため、自己評価コメントのとおり事業評価の方法を検討する必要がある。総合戦略上の事業ではあるが、1つの事業を数年で終わらせるとすれば効果の検証結果など、相応の理由が必要。支出の削減をしなければならぬとすれば、年収制限の導入なども検討してはどうか。県内他市町村からの移住にも効果があると思われるため、市外の方への周知を検討するなど定住・移住政策と連携しながら多面的な効果が期待できる事業にしていきたい。
生涯スポーツの振興	⑮各種スポーツ大会・セミナー開催(市主催共催事業)	縮小・終期設定	縮小・終期設定	縮小・終期設定	運動会については、自己評価どおり事業内容の検討をしていただきたい。また、補助事業(補助大会)については、削減を視野に協会で自力開催してもらうよう努力を促すべき。
生涯スポーツの振興	⑯チャレンジデーへの参加	縮小・終期設定	縮小・終期設定	縮小・終期設定	買い物ウォーキングやクリアファイル等の配布など取組内容に疑問を感じる。参加率を競うというのも事業内容の一環ではあるが、潟上市に限らず全体的に本来の目的を見失っている印象。廃止も選択肢の一つではあるが、継続するとすれば、参加率にこだわらず、健康増進、運動習慣の定着、地域住民の交流といった本来の目的に沿った内容で見直しを検討するべきではないか。クリアファイル等のグッズも歳出削減のためには廃止もやむを得ない。
芸術文化事業の振興	⑰芸術文化事業(文化祭、文化講演会)	現状維持継続	事務事業改善	事務事業改善	現状、若い人向けの取組が少ないため、若い人にとって魅力的なイベントではない。毎年同じような内容ではなく、若年者層を取り込み、全ての年代が気軽に芸術や文化に触れられるようなイベントにしていきたい。自己評価にあるような小中学校との連携や小中学生の作品展示場所の見直しなど改善の余地はあると思われる。また、文化講演会についても、毎年芸能人を呼ぶのではなく、例えば子育て世代向けの講演内容にする等見直しを検討していただきたい。
文化財の保護と活用	⑱文化財保存・調査事業(漁撈用具調査)	現状維持継続	現状維持継続	現状維持継続	管理、調査を含めて年間1,000万円以上の支出があるため、それに見合うような効果的な展示等についても検討していくべきである。
市民参画の推進	⑲選挙関連事務	拡大	拡大	拡大	より多くの市民が市政に関心を持てるように、幅広い年代層が議論を深める機会の設定などの諸施策を検討願う。